



# 大仙市女性消防隊健闘

## 第二二回 全国女性消防操法大会

第二二回全国女性消防操法大会は一〇月一七日(木)横浜市戸塚区の「横浜市消防訓練センター」で、全国四七都道府県から隊長、選手三二八名が参加し開催されました。本県代表の大仙市女性消防隊は二六位と健闘しました。



開会式に先立ち、秋田県消防協会草薢副会長から激励のあいさつがありました。また、開会式において、日本消防協会秋本会長は、「この大会を通じて皆さんの消防防災への取り組みは、必ず

地域の安全向上につながると思います。大会出場の際は、各県を代表される方々です。日頃の訓練の成果を存分に発揮され、事故なく無事に、納得できる操法をされるよう期待します。」と激励のあいさつがありました。大仙市女性消防隊は、四月下旬から練習を行い、約半年間、後半は週四〜五日練習し、時間は約二時間と仕事や家庭を持った隊員にとっては大変だったと思われま



題字 初代会長 松野盛吉  
定価 1部 5円  
(購読料は年会費に含む)  
発行人 〒010-0951 秋田市山王四丁目1番2号 秋田地方総合庁舎内 秋田県消防協会 会長 中田 潤  
電話 018-867-7320  
FAX 018-863-5910  
<http://www.shoubou-akita.or.jp>  
E-mail: [task@shoubou-akita.or.jp](mailto:task@shoubou-akita.or.jp)

印刷 〒010-0951 秋田市山王7丁目5-29 株式会社 松原印刷社  
電話 018-862-8760  
<http://www.matsubarainsatsu.co.jp>

平成二十五年度全国統一防火標語  
**消すまでは心の警報 ONのまま**



激励あいさつ



### ■全国大会に出場して



隊長・佐藤 美佳子  
選手全員が一致団結して操法に取り組み、精一杯頑張りました。皆様に感謝致します。



指揮者・一色 順子  
皆様の理解と支え、励まして貴重な経験をさせていただきました。次に繋げていきます。



一番員・畠山 忍  
とても楽しかったです。とても悔しかったです。一生の思い出と宝物ができました。

順位	都道府県	消防隊名称	タイム(秒)	総得点
1	優勝	宮城県 大和町女性消防隊	50.78	89.5
2	準優勝	静岡県 湖西市女性消防隊	55.63	81.5
3	準優勝	熊本県 菊池市女性消防隊	53.58	79.0
4	優秀賞	埼玉県 毛呂山町女性消防隊	56.81	78.0
5	優秀賞	岐阜県 下呂市女性消防隊	53.88	77.0
6	優秀賞	千葉県 浦安市女性消防隊	54.83	77.0
7	優良賞	鳥取県 鳥取市女性消防隊	57.60	77.0
8	優良賞	東京都 町田市女性消防隊	57.68	77.0
9	優良賞	佐賀県 基山町女性消防隊	55.90	76.0
10	優良賞	長野県 南箕輪村女性消防隊	57.04	75.5
11	優良賞	島根県 吉賀町女性消防隊	59.02	75.0
12	優良賞	北海道 登別市女性消防隊	56.56	74.5
26		秋田県 大仙市女性消防隊	58.82	66.5

### ■上位の成績



補助員・齊藤 貴子  
一つの目標を持ち頑張れたことが、凄く嬉しく思います。今後の団員活動に役立てます。



四番員・鈴木美也子  
エンジンがかかった瞬間、仲間との絆を強く感じ、出場できたことを誇りに思います。



三番員・佐藤 久子  
かけがえない貴重な経験をさせていただき感謝しています。ありがとうございました。



二番員・相馬 静華  
たくさんの方に支えられ大会に参加でき、とても光栄でした。仲間から感謝します。

## 各地域における総合防災訓練の実施状況

### 能代市山本郡

開催日	平成25年5月26日(日)
開催地	能代市
訓練想定	<ul style="list-style-type: none"> <li>5月26日(日)午前8時30分、秋田県沖を震源とするマグニチュード8を超える巨大地震発生。</li> <li>能代市では震度6強を観測。</li> <li>秋田県に大津波警報が発表。</li> <li>道路の寸断による交通事故及び建物の倒壊、火災の延焼拡大、ライフラインにも被害が発生。</li> </ul>
主な訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民による倒壊建物救出及び物資要請訓練</li> <li>事故車両救出訓練</li> <li>津波避難、誘導訓練</li> <li>バイク隊による被害情報収集訓練</li> </ul>
参加人員	2,000名(50機関・団体)



### 鹿 角

開催日	平成25年9月8日(日)
開催地	鹿角市尾去沢地区
訓練想定	<ul style="list-style-type: none"> <li>9月8日(日)午前8時45分、マグニチュード7.0の地震が発生し、鹿角市では震度6強を観測。</li> <li>倒壊建物により負傷者数名発生。</li> <li>その他、地震により土砂が用水路に入り、水が溢れ住宅内に流れ込んでいる。</li> </ul>
主な訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害対策本部設置訓練、避難誘導訓練、煙体験、情報伝達情報収集訓練</li> <li>初期消火訓練、救出救護訓練、土の積み訓練、小型ポンプ放水訓練、給食給水訓練</li> <li>夜間対応発電機取扱訓練</li> </ul>
参加人員	120名(5団体)



### 男鹿潟上南秋

開催日	平成25年11月7日(木)
開催地	男鹿市脇本地区
訓練想定	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年11月7日(木)午前9時55分、秋田県沖(海域A+B連動型)を震源とする、震度6強(マグニチュード8.5)の地震が発生。その後も震度4を超える余震が断続的に続いた。</li> <li>最初の揺れから約2分後の午前9時57分には大津波警報(特別警報)が発表された。午前10時には災害対策本部を設置した。</li> <li>20数分後、脇本村地区に津波が襲来した。</li> </ul>
主な訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防車両退避訓練、津波避難訓練、火災防ぎょ訓練、救助救出訓練</li> <li>消防防災ヘリによる負傷者搬送訓練、水防訓練、山林火災防ぎょ訓練、水難救助訓練</li> <li>福祉介護施設避難訓練、家屋倒壊救出訓練</li> </ul>
参加人員	250名(11団体)



### 大館北秋田

開催日	平成25年9月1日(日)
開催地	北秋田市阿仁前田地区及びその一円
訓練想定	<ul style="list-style-type: none"> <li>9月1日(日)午前9時35分、森吉山を震源とするマグニチュード6.9の地震が発生し、北秋田市では最大震度6強を観測、余震が続いている。</li> <li>阿仁前田地区では火災発生や家屋の倒壊、ライフラインの寸断、土砂崩れによる河川のせき止め決壊により甚大な被害が発生。</li> <li>市では直ちに災害対策本部を設置し、被害状況等の収集に当たった。</li> </ul>
主な訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報収集伝達訓練、街区火災防ぎょ訓練</li> <li>火災応援遠距離送水中継訓練、住民避難誘導訓練</li> <li>水難救助訓練(防災ヘリとの合同救助訓練)</li> <li>多数傷病者トリアージ訓練及びドクターヘリ連携訓練</li> </ul>
参加人員	355名(19団体)



平成25年度秋田県総合防災訓練は8月30日(金)、秋田県、にかほ市、消防、警察、自衛隊など90機関から約2,500人が参加し、にかほ市象潟町で行われました。

★紙面の関係で、由利本荘にかほ支部の状況は、8頁に掲載しております。

### 横 手 市

開催日	平成25年7月18日(木)
開催地	横手市大森地区
訓練想定	<ul style="list-style-type: none"> <li>想定を設けず次の要点のもと機能別に実施</li> <li>参加者や各機関の災害時における対応</li> <li>現場における関係機関の連携強化</li> <li>後方支援拠点構想の具体的なイメージ</li> </ul>
主な訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>後方支援部隊炊出支援訓練</li> <li>応急救護所、避難所、災害対策本部設置運営訓練</li> <li>支援物資集積、仕分け、搬送訓練</li> <li>ヘリ搬送拠点開設訓練</li> </ul>
参加人員	400名(20団体)



### 秋 田 市

開催日	平成25年8月29日(木)
開催地	秋田市河辺地区
訓練想定	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年8月29日(木)午前7時30分、秋田市北部を震源とする非常に強い地震が発生、秋田市では震度6強を記録、その後も震度5から4を超える余震が断続的に続いている。</li> <li>市内各地では崖崩れや車の転落事故により多数の死傷者が出ている数カ所で火災が発生、各地で道路が寸断。</li> <li>ライフラインにも大きな被害が生じている。</li> </ul>
主な訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>中高層建物火災救助・救出訓練・土砂災害負傷者救助・救出訓練及び応急救護所設置・運営訓練</li> <li>火災防ぎょ訓練・崖崩れによる土砂災害負傷者救助・救出訓練及び応急救護所設置訓練</li> </ul>
参加人員	1,000名(36団体)



### 湯 沢 市 雄 勝 郡

開催日	平成25年9月3日(火)
開催地	湯沢市皆瀬地域
訓練想定	<ul style="list-style-type: none"> <li>9月3日(火)午前9時頃、本県と宮城、岩手の県境付近を震源とするM6.8の地震が発生し、湯沢市では震度6強を観測した。</li> <li>この地震により建物の損壊や観光客等への被害、ライフライン及び土砂崩れ等による道路の寸断、多発的に火災が発生した。</li> </ul>
主な訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害対策本部設置訓練</li> <li>避難訓練及び火災防ぎょ訓練</li> <li>山岳救助訓練及び山林火災防ぎょ訓練</li> <li>多数傷病者対応訓練、消火訓練、炊き出し訓練</li> <li>特殊建物火災防ぎょ訓練及び避難・救出訓練</li> </ul>
参加人員	470名(20機関・団体)



### 大 仙 仙 北 美 郷

開催日	平成25年5月28日(火)
開催地	大仙市協和地域
訓練想定	<ul style="list-style-type: none"> <li>5月28日(火)9時5分頃、大雨と強風の中震度6強を観測する内陸直下型の巨大地震が発生。</li> <li>建物の倒壊、ライフラインの断絶、住宅密集地での火災発生、土砂崩れ、倒木被害。</li> </ul>
主な訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>倒壊建物救出負傷者搬出訓練、消火訓練、避難所開設運営訓練</li> <li>水難救助訓練、倒木被害救出訓練、危険物漏洩対応訓練、救急トリアージ訓練</li> </ul>
参加人員	約1,000名(29機関・団体)



# 平成二五年秋の叙勲 第二一回危険業務従事者叙勲

平成二五年秋の叙勲及び第二一回危険業務従事者叙勲の受章者が一月三日(日)に発令されました。

本県の消防関係では、今回の秋の叙勲で二二名、危険業務従事者叙勲で八名の方が受章され、一月五日(火)午後一時三〇分から秋田県正庁で、知事の伝達式が行われました。

また、消防庁長官の伝達は、秋の叙勲が一月七日(木)ニッショーホールで、危険業務従事者叙勲は、



一月二日(火)日比谷公会堂で行われ、それぞれの叙勲伝達後、皇居において拝謁が行われました。受章者の皆様、誠におめでとうございませう。

## 平成二五年秋の叙勲

### ◆瑞宝双光章(一名)

- 元大仙市消防団 副団長 田中十九也

### ◆瑞宝単光章(二二名)

- 元大曲市消防団 分団長 伊藤康夫
- 元仙北市田沢湖消防団 団長 大石正文
- 元西仙北町消防団 分団長 大友久夫
- 元雄勝町消防団 副団長 奥山英一
- 元南外村消防団 分団長 加澤義春
- 元横手市消防団 分団長 鎌田義一
- 元角館町消防団 副団長 鎌田義太郎
- 元山内村消防団 分団長 木村正雄

## 第二一回危険業務従事者叙勲

### ◆瑞宝双光章(三名)

- 元大館市消防本部 消防司令長 虻川義幸
- 元由利本荘市消防本部 消防司令長 遠藤照夫

- 元秋田市消防団 分団長 熊谷甚市郎
- 元岩城町消防団 分団長 今野哲雄
- 元西仙北町消防団 団長 佐々木康之
- 元秋田市消防団 副団長 佐藤鈴雄
- 元潟上市消防団 副団長 菅原純一
- 元秋田市消防団 分団長 高橋佐久男
- 元大館市消防団 分団長 武田方昭
- 元羽後町消防団 分団長 寺田一夫
- 元大館市消防団 分団長 花岡義彦
- 元仙北市角館消防団 団長 林崎一美
- 元能代市連合消防団能代消防団 分団長 平塚尚
- 元能代市消防団 分団長 三浦満郎
- 元羽後町消防団 分団長 米山忠一



### ◆瑞宝単光章(五名)

- 元大曲仙北広域市町村圏組合消防本部 消防監 加藤範行
- 元五城目町消防本部 消防司令 阿部博美
- 元秋田市消防本部 消防司令長 伊藤勉
- 元横手平鹿広域市町村圏組合消防本部 消防司令 稲葉長一
- 元能代山本広域市町村圏組合消防本部 消防司令 田口照夫
- 元男鹿地区消防一部事務組合消防本部 消防司令 船橋正照

平成二五年度消防団員指導員研修は、一〇月二六日(土)、二七日(日)の二日間、由利本荘市の秋田県消防学校で開催され、二二消防団から二四名が参加しました。

研修では、幹部の心得、防災対策・住民指導、消防団の活性化などの座学や訓練礼式、応急手当、消防訓練・消火活動・救助活動などの実技を熱



**平成二五年度  
消防団員指導員研修**

秋田県消防学校

平成25年度 消防団員指導員研修受講者名簿

消防団名	階級	氏名
鹿角市	部長	渋谷勝彦
大館市	部長	畠沢貢
北秋田市	班長	杉渕光弘
上小阿仁村	部長	佐藤文隆
能代市	団員	伊藤樹
八峰町	分団長	米森悦浩
男鹿市	部長	鈴木和司
潟上市	分団長	菅原権一郎
潟上市	副分団長	菅原靖仁
五城目町	分団長	伊藤一成
八郎潟町	部長	佐藤毅
井川町	分団長	伊藤俊博
秋田市	副団長	横田定和
由利本荘市	部長	三浦周作
にかほ市	分団長	佐藤盛一
大仙市	部長	大橋賀治
仙北市	副分団長	渡辺勇悦
美郷町	分団長	畑山源太郎
横手市増田	分団長	高橋勇三
横手市平鹿	副分団長	柿崎信人
横手市雄物川	副分団長	長谷川裕美
湯沢市	分団長	半田好男
湯沢市	分団長	佐藤忠蔵
羽後町	分団長	佐々木修一

心に受講していました。

入校式で秋田県消防協会中田潤会長は「この研修は、消防団員の指導に当たる幹部を養成することを目的に、当協会が日本消防協会の支援を受け消防学校の協力を得て実施するものです。消防団を巡る環境として、団員の高齢化やサラリーマン化の進行などで団員の減少に歯止めが掛からず、地域消防力の低下が懸念されているところである。このように厳しい状況下にある消防団ではあります、皆様方には力強いリーダーシップの発揮によりまして、消防に対する住民の期待に応えていただきたい。」とあいさつしました。

消防半天・帯・団旗  
優勝旗・ゼッケン  
手拭・タオル・のれん  
旗幕類名入染物専門

**寺 田 染 工 場**

横手市清川町 ☎32-0416

トーハツ消防ポンプ  
モリタ自動車ポンプ 総合防災設備センター  
消防被服全般  
秋田県代理店

**株式会社 高 義 商 会**

(営業種目) { トーハツ小型動力ポンプ  
モリタ自動車ポンプ  
ジェットホース  
消防被服全般  
火災報知器各種  
消火器各種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32  
TEL(0183)(42)2125  
〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183)(73)2588

**株式会社 タカギ**

秋田県横手市寿町1番28号  
TEL (0182)(32)3880

(営業種目)

日本機械自動車ポンプ	キンパイホース
トーハツポンプ	シバラポンプ
各種消防機械器具	各種消火器
消防設備保守点検	

ホームページ <http://www.17.ocn.ne.jp/~takagi/>  
E-mail [ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp](mailto:ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp)



「伝統を守り、未来を拓く、われら女性消防団」のテーマのもと、第一九回全国女性消防団員活性化ぎふ大会が、一〇月三〇日(水)岐阜県高山市を会場に全国から二、七〇〇名が参加して開催されました。

本県からは、秋田県消防協会中田潤会長ほか一八名が参加しました。オープニングセレモニーとして飛驒の祝い唄「めでた」が披露され、大会旗入場で開会しました。

開会式に引き続き、四団体の活動事例発表が行われ、アトラクション

# 第一九回全国女性消防団員活性化ぎふ大会

来年度は千葉県で開催



として飛驒地方の伝統芸能が披露されました。

午後に入り、火災予防啓発劇の発表が四団体からありましたが、いずれの団体も素人が演じているとはとても思われないほど完成度が高いものでした。また、記念講演では地元高山市出身の清水ミチコさん(女優・歌手)の熱演が大変な盛り上がりを見せておりました。

最後に次期開催地の千葉県に大会旗が引き継がれ、本大会も無事終了、参加者の皆さん大変お疲れ様でした。☆参加者のメッセージは一二月号に掲載します。

## ぎふ大会プログラム

- ウエルカムコンサート  
高山市消防音楽隊
- オープニングセレモニー  
飛驒の祝い唄「めでた」
- 開 会 式
- 活動事例発表  
今治市消防団 (愛媛県)  
川越市消防団 (埼玉県)  
枚方市消防団 (大阪府)  
伊万里市消防団 (佐賀県)
- アトラクション  
高山市伝統芸能
- 火災予防啓発劇  
飛驒市消防団 (岐阜県)  
阿見町消防団 (茨城県)  
日南市消防団 (宮崎県)  
北九州市若松消防団 (福岡県)
- 記 念 講 演  
清水ミチコ (女優・歌手)
- 閉 会 式  
大会宣言  
お礼の言葉  
大会旗引き継ぎ  
次期開催地あいさつ



佐賀県伊万里市消防団



福岡県北九州市若松消防団



茨城県阿見町消防団



宮崎県日南市消防団

# 平成25年度 防火ポスターコンクール募集要項

- 1. 目的 少年少女の防火意識を高めるとともに、一般県民の防火思想の普及啓発を図ることを目的とする
- 2. 主催 秋田県・(公財)秋田県消防協会
- 3. 後援 秋田県教育委員会・秋田魁新報社・NHK秋田放送局
- 4. 募集規定
  - (1) ポスター
    - イ 色数、表現方法は自由とし、防火思想の普及に適するものであること
    - ロ 大きさはB3版又は画用紙四つ切大(54cm×38cm)程度であること
    - ハ 一人一点とする
  - (2) 応募資格 県内の小・中学校の児童生徒
  - (3) 募集期間 平成25年11月1日～12月31日(12月31日の消印有効)
  - (4) 審査 学識経験者・秋田魁新報社・NHK秋田放送局・秋田県(公財)秋田県消防協会で構成する審査会において行います。
  - (5) 入賞発表 平成26年2月上旬頃、秋田魁新聞紙上にて発表
  - (6) 賞 次の入賞者には、学校を通じて賞状と図書カードを贈呈します。  
 小学生の部 一席1名、二席2名、三席3名、佳作10名まで  
 中学生の部 一席1名、二席2名、三席3名、佳作10名まで  
 一席5,000円 二席3,000円 三席2,000円 佳作1,000円
- 5. 募集条件
  - (1) 応募は未発表の作品に限る
  - (2) 応募作品は原則として返却できません。(返却を希望される場合、選外作品に限り送料着払いにてお返ししますので、事前にお申し出ください)  
入賞作品の著作権は主催者に帰属します。
  - (3) 募集規定に違反した作品は採用いたしません。
  - (4) 作品には市町村名、学校名、学年、氏名(ふりがな)、性別を記入した **名札(たて6cmよこ20cm)を作品の右下に必ず貼り付けてください。**  
 【記入例】 ※ふりがなは必ずご記入ください。

市町村名	学 校 名	
	(ふ り が な)	性
学 年	氏 名	別

- 6. ポスターの作製 一席に入賞した作品どちらか1点で防火ポスターを作製しますので、**作者の学校名・学年・氏名をポスターに記載することを予めご了承ください。**
- 7. 送り先 〒010-0951 秋田市山王4-1-2 秋田地方総合庁舎  
(公財)秋田県消防協会あて お問合せ先 TEL 018-867-7320  
※ 作品を送付される場合、送料は応募者のご負担ください。



大館第一中学校  
畠山 ゆめさん

藤里小学校 細田優季乃さん

山王中学校  
加藤 菜摘さん

二ツ井小学校  
金野 千紘さん



消防団員による水防訓練

### 支部情報アラカルト

## 消防団員による水防訓練

横手市消防団

平成二五年一〇月現在、横手市消防団の団員数は、二、六七一人、内女性消防団員は三一人で活動しております。

横手市消防団では、大雨や台風に備えるとともに、消防団員の水防技術の向上を目的に、毎年水防訓練を実施しております。

平成二五年度横手市水防訓練を、六月八日に雄物川大上橋下流の大雄運動広場で行いました。

## 由利本荘にかほ

開催日	平成25年9月1日(日)
開催地	由利本荘市大内地域
訓練想定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前日から豪雨が続き中、午前8時17分頃、県内陸部を震源とする震度5強の地震が発生。</li> <li>・芋川の水位上昇により洪水の危険性が高まった。</li> <li>・地震被害により小羽ダム決壊の危険性が高まった。</li> <li>・市街地で建物の倒壊と火災が多発した。</li> </ul>
主な訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害広報訓練、情報伝達訓練</li> <li>・水防訓練、救助救出訓練、応急救護訓練</li> <li>・初期消火訓練、火災防ぎょ訓練、避難訓練</li> <li>・避難者設置訓練、炊き出し訓練</li> </ul>
参加人員	1,000名(9機関・団体)



当日は、市内八つの消防団から二六〇人余りの消防団員が参加し、河川の状況に応じた工法の訓練を行いました。各消防団は、始めに増水時の基本的な対策となる「積み土のう工法」を実施、その後、堤防法面への「シート張り工法」、土のうを固定した木で水流を弱める「木流し工法」を行い、最後に大小一七本の丸太を縄で結んで組み上げる伝統的な「川倉工法」を実施しました。

これらの訓練は、今年七月の大雨による河川増水時にも役立ち、木流し工法により河川堤防の決壊を防ぐなど実践的な訓練となりました。

(情報提供 横手市支部)

## 火災の発生状況(速報値)

(秋田県総合防災課調べ)

	平成25年		平成24年			同期比較	
	10月	累計	10月	累計	年計	10月	累計
建物	15	164	18	205	237	-3	-41
林野	0	38	0	30	30	0	8
車輦	1	33	5	32	38	-4	1
その他	5	59	2	74	81	3	-15
合計	21	294	25	341	386	-4	-47
死者数	2	17	3	18	20	-1	-1
負傷者数	4	60	10	70	77	-6	-10

森田ポンプ ラビットポンプ  
 桜ホース・ソフト吸管 消防被服一式  
 各種消火器 消防機器一式

株式会社 協立  
 株式会社 能代消防センター

〒016-0846 能代市栄町12の3  
 TEL (0185) (52) 6361  
 (52) 6494

地域の防災、災害対策に貢献!

**消 防**  
 ポンプ自動車  
 小型ポンプ  
 ホース

**設 備**  
 火災報知器  
 スプリンクラー  
 消火器

## 猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目1番24号 TEL 018 (863) 1551(代)  
 山王セントラルビル7F FAX 018 (824) 3651